

変形性股関節症、変形性膝関節症、股関節インピンジメント症候群、前十字靭帯損傷、半月板損傷の治療のために

受診中あるいは受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター整形外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

深層学習を用いた筋・靭帯・骨組織の自動領域抽出プログラムの作成

【研究の背景と目的】

整形外科疾患を抱える患者さんにとって、筋肉・靭帯・骨組織の体積や質の評価は、手術後の回復具合を予測するために非常に重要な情報です。しかし、検査画像から評価のための計測をするには1枚ずつ手動で行うため多くの労力を必要としています。この研究ではコンピュータによる深層学習を用いて、自動で検査画像から対象臓器を自動抽出し、体積や質を正確に評価できるかどうかを検討します。

【対象となる方】

当院整形外科にて、2020年4月1日から2029年3月31日までに変形性股関節症・変形性膝関節症・股関節インピンジメント症候群・前十字靭帯損傷・半月板損傷のため、CTまたはMRI検査を受けた患者さんを対象とします。

【使用する診療情報】

使用する診療情報は、CTおよびMRIの検査画像にのみです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2024年4月6日）から2029年3月31日まで実施され、100名の患者さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本整形外科学会、日本人工関節学会、日本股関節学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報公表いたしません。

この研究の研究成果は Journal of Orthopedic Science 雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 片桐 洋樹（講師）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 担当者：橘 哲也（学内助教）

電話番号：048-965-8545（医局直通）（月曜から金曜日の 10:00～15:00）

以上